杉並のボランティア情報紙

2023

ボラン・て 2月

「ボラン・て」の「て」は、つなぎあう人と人の「手」。手を借りたり、貸したりするためのボランティア情報をイメージして名づけました。

地域づくりの最前線

～そのチャレンジ！応援します～

「NPO法人　ゆるゆるma～ma」は、杉並区社会福祉協議会の「地域福祉活動費助成金」チャレンジ応援助成を活用して、子ども達の居場所「みんなのいばしょ　東原Pタイム」を開催しています。子ども達が学年を超えて集い交流できる場を地域住民と一緒につくっています。

【特集】 NPO法人 ゆるゆるma～ma みんなのいばしょ 東原Pタイム

広報スタッフ　河野（こうの）　知恵子（ちえこ）さん（写真中央右側）

見守りボランティアと利用者の皆様

3面・・・東京女子大学・留学生の地域体験報告
令和5年度ボランティア保険のご案内
4面・・・福祉体験用具を貸し出します
ホームページリニューアルのお知らせ

この情報紙は、区内のボランティアの方々に、宛名シール貼り、封入作業を行っていただき、発行しています。
いつもご協力ありがとうございます。

お問合せは　杉並ボランティアセンター　TEL：5347-3939 ／ FAX：5347-2063 ／メール：info@borasen.jp

【特集企画】

地域づくりの最前線
～そのチャレンジ！応援します～

杉並ボランティアセンターでは、「地域福祉活動費助成金」を通して、地域で活動する団体を応援しています。
今回はその中の一つ、チャレンジ応援助成団体※
「NPO法人ゆるゆるma～ma」広報スタッフ河野知恵子さんに対象事業についてお話を伺いました。
※チャレンジ応援助成とは…新規の活動を応援するための助成金。地域の方々からの善意で集まった歳末たすけあい運動募金が原資になっています。

「NPO法人ゆるゆるma～ma」（以下「ゆるゆるma～ma」）は、2005年杉並区和田で子育て支援の任意団体として設立。2012年NPO法人化。具体的活動としては、お子さんの預かり・送迎・学習支援、ゆうゆう館（２館）の受託運営、コミュニティふらっと東原（以下「コミふら東原」）の受託運営、子どもの生活支援を目的とした子ども食堂等を行っています。地域で子どもを育てることを考え、地域力をまとめ、支援する活動をしています。

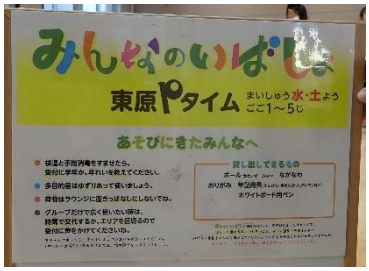
助成金事業活動内容

2021年からコミふら東原にて毎週水・土曜の午後に子ども達が自由に集える居場所を提供しています。昨年度から助成金を申請して、子ども達を地域で育てるため、親同士や子ども同士の交流、シニア世代や多くの地域住民との交流をもつことで、安心して子育てができる地域づくりを目指して活動しています。

東原Pタイムとは

▲ボール遊びのできる広い多目的室

2020年３月に東原児童館が閉館したことから、地域住民の要望を受け、もともと児童館があったコミふら東原で、自主事業として東原Pタイムを始めました。ちなみに、Pタイムの「P」はplayの意味もありますが、東原児童館キャラクター鳥「ぴーちゃん」からもとりました。この学区域には、ボール遊びが出来る場所がなく、公園もあまりありません。コミふら東原の多目的室は天井が高く広いのでボール遊びもできます。また、子どもが自由に遊ぶだけの居場所ではなく、同伴した大人も一緒にバドミントンなどをして過ごすこともできます。大人の目があることで、安全な場所を確保しています。活動中は地域の方々に見守りボランティアとして入っていただいています。見守りボランティアは現役保護者に加え、子育てが一段落した方が多いです。PTA会長経験者や青少年委員、民生委員など地域活動に関わってきた方のレギュラーメンバーなど７～８名と、臨時で入ってくださる方数名で担っています。１回の活動で、前半後半２名ずつ計４名で見守りをしています。遊びに来てくれる子は小学校中学年位が多いですが、活動開始時に遊びに来てくれていた小学生が、中学生になって来てくれることもあります。



▲看板

▲コミュニティふらっと東原

地域とのつながり

この事業は、子育てが一段落したシニア世代・子育て世代・子ども達と、多世代交流の場になっています。この活動を始めて、私自身が地域活動の面白さを感じています。見守り当番では、地域の方に昔話を聞くことができて、楽しませてもらっていますし、年配の方も子ども達とのふれあいができ、とてもいい多世代交流の場になっていると思います。また、小学校に行くと、遊びにきてくれる子ども達が声をかけてくれるようにもなりました。路上で遊ぶことは今のご時世では難しいので、地域の方々の協力でボール遊びや鬼ごっこができる場所ができたことは嬉しいです。事業を継続するために見守りボランティアの方々は必要で、多くの方に協力していただいています。大人も子どもも地域で育ちあい、活動を継続していける下地を作っていきたいです。

▲人気の工作教室

今後の活動と読者へのメッセージ

▲助成金で購入したバドミントンセットで遊ぶ利用者

今後は活動を知ってもらうための工夫をもっとしていきたいです。コロナ禍の真っ最中に始めた活動なので、当初は告知が上手くできませんでした。人が集まること自体が難しい時期もありましたが、子ども達の口コミで知られるようになり、やっと利用者が定着してきました。コロナ禍での活動で、多目的室に入れる人数は大体２０名程度に抑え、CO_2測定器を設置し子ども達が密集しないような工夫もしています。コミふら東原ではこのような事業があることを知っていただき、ぜひ大人も子どもも安心して遊びに来てもらいたいです。

NPO法人　ゆるゆるma～ma
みんなのいばしょ　東原Ｐタイム
＜開催場所＞〒167-0022　杉並区下井草1-23-23
コミュニティふらっと東原　多目的室
☎03-3997-7225
＜日時＞　毎週水・土曜（年末年始除く）
午後1時～午後5時

東京女子大学　留学生の地域体験報告　Part2
＜善福寺サロンでの体験報告＞

2021年「ボラン・て」6月号で取材させていただいた東京女子大学現代教養学部・松尾慎教授ゼミとのご縁で、中国・韓国等からの留学生の方々に、地域体験の様子を日本語で書いていただきました。今回は、杉並区地域包括支援センターケア２４善福寺が開催している善福寺サロンに参加した留学生の記事です。前回（2022年12月号）に引き続き、今回も地域とつながりたいという留学生の想いを感じていただければ幸いです。（頂いた原文のままで掲載）

【メンバー】オ・ウネさん、ショウ・テンエンさん、チン・ホンセイさん

今の社会では、お年寄りが家族以外の誰かと話をする機会が少ないと感じます。そこで私たちは、絵本を使って、お年寄りと積極的に話せる活動を行いました

１つ目として、ケア24善福寺が開催している善福寺サロンの交流会に参加しました。日本と中国、韓国の文化の違い、世界の社会問題について話し合いました。善福寺サロンに参加した高齢者のお話は、学校の教科書よりわかりやすく、よりリアルに伝わってきました。それは、皆さんがその時代に生きて、体験したことを話してくれたからだと思います。

２つ目は東京女子大学の教室に高齢者の方々をお招きし、韓国の「小豆(あずき)粥(がゆ)おばあさんと虎」と中国の「九色(くしき)の鹿」という絵本を読んで紹介しました。絵本を選んだ理由は、話と絵を一緒に見聞きすることでイメージし、交流出来ると思ったからです。絵本を読み終えた後は、グループにわかれて、感想などを話し合いました。

▲善福寺サロン

▲絵本の紹介

【学生のメンバーの感想】

- この活動を通して、ケア24善福寺の方に送るメールの書き方や、お年寄りとの話し方など、いろいろ学ぶことができました。
- 各国の文化と社会問題をつくづく実感しました。皆さんと助け合いスムーズに活動ができました。
- 学生は、普段あまり話す機会がない地域に住む高齢者の方々と交流し、話し合うことが出来て嬉しかったです。皆さんと大切な時間を作りいい思い出になりました。

※次号は最終回のPart3です。お楽しみに！

ご案内　令和５年度　ボランティア保険のご案内

令和4年度ボランティア保険の保険期間は**令和5年3月31日まで**です。

注意

4月以降も引き続きボランティア活動を行う場合は保険加入の手続きが必要となります。お問い合わせの上、お手続きをお願いいたします。

※申請書は**3月上旬から**の配布予定です。

＼ Hello! ／ 登録団体さ～ん　Vol.11

★杉並ボランティアセンターの登録団体を紹介するコーナー。団体登録受付中！

モットー「楽しく・自分らしく・あきらめない」

◆特定非営利活動法人　プロップK

- 活動内容：区施設管理（コミュニティふらっと成田、ゆうゆう久我山館・上高井戸館）、多世代・地域交流推進事業、ユニバーサルスポーツ普及事業、杉並区ダーツ協会協力
- 活動場所：運営施設と区内外の学校、体育施設等
- 活動日時：祭日を含む事業開催時と施設開館時

▲ダーツの様子

お問合せ

杉並ボランティアセンター
〒167-0032 天沼3-19-16
ウェルファーム杉並4階
TEL：03-5347-3939　FAX：03-5347-2063
ＨＰ：http://borasen.jp/

ぼらせん．jp　検索

ご案内

福祉体験用具を貸し出します

学校関係者の皆様へ

杉並ボランティアセンターでは、無料で福祉体験用具の貸し出しを行い、福祉学習のお手伝いをしています。このたび、**福祉体験用具「高齢者模擬体験キット・キッズセット（こども用）」**を5セット追加購入しました。

この模擬体験セットを使い、杉並ボランティアセンターの職員が福祉学習の講師を行うこともできます。

皆様の学校でも福祉学習をしてみませんか。

【貸し出し用具】（１か月前に要予約）

- **「高齢者模擬体験キット（大人用）」１５セット**
- **「高齢者模擬体験キット・キッズセット（こども用）」１０セット**
- **「体験用車いす」１０台**
- **「点字練習機」６０個**
- **「白杖」４３本**

などの貸し出し物品がありますので、ご相談ください。貸し出し期間は**１週間**です。

事前に電話でご予約の上、受け取りにきていただきます。

お問い合わせは杉並ボランティアセンター（☎03-5347-3939）まで。

※学校関係の方でなくても貸し出しOKです！！

＜転載元　株式会社三和製作所ホームページ＞

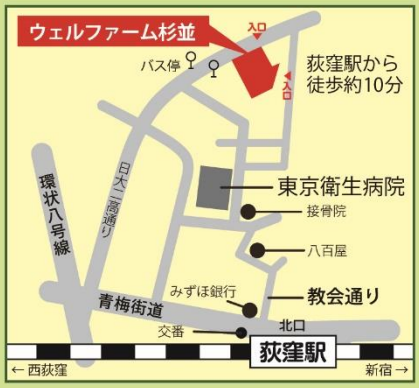
◆福祉学習体験をした小学生の感想◆

高齢者がどこまで大変か、わかりました。

これからは高齢者のためにできることを考えてみようと思います。

高齢者体験の時、年をとるとこんなに大変になるんだなと思いました。

4月1日から杉並ボランティアセンターのホームページが大きくリニューアルする予定です。詳しくは次号で！



杉並のボランティア情報紙「ボラン・て」

発行：社会福祉法人 杉並区社会福祉協議会
杉並ボランティアセンター

〒167-0032　杉並区天沼3-19-16　ウェルファーム杉並4階
TEL: 03-5347-3939　FAX: 03-5347-2063
メール: info@borasen.jp　ホームページ: http://borasen.jp

うぇるくん
杉並社協のイメージキャラクター

開所時間：火～土曜日
8:30～17:00
＊祝日・年末年始はお休みです。

情報紙「ボラン・て」は、次の区内各所にも置いてありますのでご利用ください。区役所・区民集会所・区民事務所・地域区民センター・一部のゆうゆう館・図書館・駅スタンド（区内JR、地下鉄丸の内線など）・他